

もとより東京オリパラ強行と、感染拡大抑制を両立させることは不可能であった。五輪開催と感染拡大の直接・間接の関係は否定できない。五輪強行が、コロナ緊急事態宣言下の国民の行動抑制に真逆に作用したことは明らかである。

22日、菅首相地元（衆院神奈川2区）の横浜市長選で、閣僚から転じた小此木（同3区）が野党共同候補に大差で敗れ、自民党に激震が走った。それで、菅首相が野党・国民党から打倒されるのは少なく、9月29日投開票の自民党総裁選を前に、自民党じたいから打倒されることとなつた。

しかし、感染爆発対応でどうみても臨時国会が必要な時に、野党・国民からのコロナ対策などの批判や対策案を封じての臨時国会すら開かない。また、入院したくも入院できない医療崩壊に突入し、コロナ自宅療養者

韓国サンケン学
解雇撤回！

の参院広島区再選挙が実行される。底の津利である。党・市民共闘側はナ対策での予算要求を

いわ等の候補一本化を求め、自公を打倒しよう！

局長)が開会挨拶、「マダンを闘いの広場にしなければならない」「私たちの先頭に立つべき尾澤さんが、言いかかりをつけられ、デッチ上げで逮捕された。このようなことを許してはならない」「闘いを一步も緩めることはできない」と決意のほどが述べられた。続いてノレ(歌)の会による、「連帯闘争歌のユルトンが演じられた。

この後、オンラインで、まず韓国サンケン学組支会長のオ・ヘジンさんから挨拶がなされ、副会長のキム・ウニヨンさんは、以下のように

韓国サンケン労組支援8・21マダン
解雇撤回！尾澤さん釈放を

菅首相ついに自滅

米軍が8月3日、アフガニスタンから完全に撤退した。アフガニスタン国民の偉大な歴史的勝利である。アフガンの国民・諸民族は、かつてソ連社会帝国主義の侵略と9年間戦つてこれを撃退し、これに続く、アメリカ文化主義の「対テロ戦争」という名の無法な侵略と20年間戦つて、ついに米・NATO諸国軍を追放した。アフガン国民の半世紀近い「帝国」との苦難の戦いは終結し、独立・平和・和解・繁栄の道が拓かれた。アフガン国民・諸民族の希望に応えられるかどうか、政権に復帰するイスラム主義勢力タリバンには、これが問わねている。

アフガン情勢との関連で日本に問われているのは、「危険な」タリバンから如何に退避させるかなどといふことではない。米国のアフガン・イラク「対テロ戦争」に追随し、自衛隊を海外派兵してまで、これに加担してきた日本政治の根本的反省が問われている。

自公政権からの当面の政権交代を担う諸野党勢力にその反省ができるかどうか、これが問われる。日米同盟基軸路線との、日本民衆の鬱いは続く。（編集部）

サヨナラ米帝・さよなら菅政権

の闘いでもあり、日本との支配勢力に対する闘いでもあります。私たちの闘いは「一つです！」と日本韓民衆連帯の重要性を訴えた。

マダンは、サンケン士郎、日本音楽協議会の仲間の歌と続き、ここで別アピールとして、ゲン・マ・ジャパンユニオン(全労協全国一般東京労組から、韓国に本社があるゲン・マ・コリアとの労働争議について報告。「日本資本、韓国資本の違いはありますかが、韓・日間で行なわれている闘争ということで、お互いで力を出し、双方で支援できました」と

ピースサイクルの先遣自転車隊を見送った。 次は、東海村役場に向かう。村側との質疑で、避難計画や再稼働対応を主に質問した。 避難計画の不備を理由に東海第二の運転差し止めを命じた3・18水戸地裁判決に対する東海村の評価では、「司法上の一つの判断がなされたものと受け止め、これまでの取り組みを着実に前進させ、結果を積み重ねる」と回答。 これは、山田村長の見解と同一で、水戸地裁判決は一つの判断でしかなく、再稼働容認に向けて着々と準備を進めている。

係機関との連携・協
向けた経験蓄積の練
上に継続的に取り組
と回答した。

しかし福島原発事
は予測できない事態
生し、双葉病院等の
者が何のケアも受け
ずバス車内に放置さ
死亡する人が続出し
水戸判決は、「5つ
治体の広域避難計画」
後の検討課題を複数
ている」と指摘して
る。

来年9月までに燃
填、12月安全対策工
了で再稼働とする原
計画については、「ル
のスケジュール等具
な説明等は受けて」

午後は、力発電所に強行しないで書き換えた。原電は、下の断層がを判断する書き換えたある。しかし、二は、首都発だ。東海阻止、さらへ奮闘しておなじく、自ら今見えいふた。村とロナを理由にわつた。

東海第二原子
炉の交渉は、コ
ニ50分程で終
り、要請行動を行
て稼働を絶対に
止むこと等の要望
側に受け取ら
れました。

去の歴史を見ているようでした」「尾澤さんの逮捕も、この一線上にあります。ではないかと思えるのでした」「日本の多国籍企業との闘いであり、重政権や公安警察との闘いでもあります」「私たちもしつかり認識し、尾澤さんの釈放も、私たちの闘いの勝利もなしえると思います」「この闘いは、韓国の労働者の闘い

村の日本原電・東海第二原発の再稼働に反対し、「東海村一日行動」が闘われた。主催は、ピースサイクリクル全国ネット常磐線ルート。

まず午前中から、東海駅前で事前集会。毎年、東海村の関係者が参加していたが、今年は茨城県でもコロナまん延で参加見合わせになってしまった。それでも首都圏から15名ほどが参加、一日

は、周辺 6 市村が原
結んだ安全協定にて、了解権は持つて
が「自治体に拒否権
い」などと発言し
る。(9月5日に東
長選が茨城県知事選
日選であるが、村政
換が問われる)。

また村側は、高齢
ど避難行動要支援者
いて、在宅避難行動
者6名と職員が付き
ての、施設入所者6

電と
いの回答は月前電力会社と
施設・設備ごとに行なわ
れ、具体的な日程等は
「工事の進捗に応じて、
都度 原子力規制庁との
調整で決められるものと
聞いている」と回答。こ
れでは原電の言うがま
という姿勢である。そし
て、6市村の首長で構成
する原子力所在地域首長
懇談会では、原電からの
使用前検査申請について
「稼働及び運転延長に直
結するものでは」ないと

再稼働反対8・13東海村一日行動

闘争を恐れたサンケン電気、埼玉県警公安が、韓国サンケン労組の闘いと日本の支援運動をつぶそ
夕刻、チャンゴ隊えたデモ行進に出発伝カーを先頭に、サン本社前までを往

を交宣ケし没となつた。

な発言があつた。このよう
なマダンが開催される
のは「なんだか信じられ
ない。美しい光景がわた
くし達の前に広がつてい
ます。皆さんの鬪いに、
連帶に、私たちは大きな
力を得ていてます」、「最近
かんから&How'sの
歌、ゆいの会「仮面劇・
サンケン鬪争の巻」と続
き、最後に尾澤さんの獄
中メッセージが代読され
た。「韓国と日本で大き
な発言した。

うとし、また日本と韓国
の連帯運動の広がりを断
ち切ろうとして、かけて
きた弾圧に私は屈せず、
再び現場に戻り、韓国サ
ンケン労組に連帯し、勝
利するまで最後まで闘い
たいと思います」と決意
た。

尾澤さん獄中アピール
にもあるように、勝利の
その日まで闘い抜くこと

「コロナ禍の中での生活困窮者への支援活動をめぐつて」

8・7金ヶ崎講座シンポジウム

去る8月7日、大阪市中央区のエルおおさかにて、「コロナ禍の中での生活困窮者への支援活動をめぐつて」と題するシンポジウムが開催された。主催は金ヶ崎講座。参加者は50名。な

おライブ配信希望視聴者が95名をかぞえ、コロナ状況とはいえ関心の高さをうかがわせた。

このシンポは、ここ1年半の新型コロナウイルス禍の中で、仕事や住まいなど、ひつ迫した状況に追いついた生活困窮者への支援活動が取り組まれてきた中、大阪での取り組みを報告し、成績と問題点を整理し、関西での共同した取り組みを発展・強化させるために企画されたもの。今回は若い人を中心とした生き生きとした発言と真剣な議論がなされ、多くの参加者からの質疑応答もされる中で、今後に向けての意義ある取り組みになつた。

以下のシンポジストは以下5人の方々。各所属、報告タイトルも以下。

①小林大悟さん(新型コロナ住まいとくらし緊急サポートプロジェクトOSAKA呼びかけ人)。「コロナ禍で生まれたALL大阪の連携」

②川上翔さん(認定NPO法人ピッギッシュ・ディネーター)。「おうち

基金プログラム・コー

ティネーター)。

③永井悠大さん(認定NPO法人Homeless相談支援員)。「個室シェルター『アドセンター』を通じた居宅移行支援の課題と展望」。

④松本裕文さん(NPO法人金ヶ崎支援機構事務局長)。「コロナ禍で試してみた居住支援の特徴と特別定額給付金・ワクチン接種の支援」。

⑤小久保哲郎さん(生

活保護問題対策全国会議事務局長、弁護士)。「コ

ロナ災害を乗り越える何

でも電話相談会と生活保

護をめぐる状況」。

そしてコーディネー

ターを務めてもらったの

は、白波瀬達也さん(関

西学院大学人間福祉学部准教授)であった。白波瀬さんは、2017年の金ヶ崎講座23回講演のついで、「地域と貧困」と題したお話をしても

らった人である。

冒頭、金講座の渡邊

代表が開催趣旨を述べ、

2001年の野宿者支

援法成立の高揚時にも、

金講座はシンポジューム

を立ち上げる役割を担つた。コロナ禍での関西での支援の仕組みを知つても、世論を拡大する

ことが急務だ」と発言、早速各シンポジストの報告が移つていった。まず

5人の活動報告をそれぞ

れ語つてもらい、それを元に会場討論へと移行し

者への打撃拡大を想像す

るとなつた。生活保護取得

(川上 翔)
ビッグイシュー基金

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小久保 哲郎）
生活保護対策会議

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小久保 哲郎）
生活保護対策会議

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井 悠大）
NPOホームドア

（松本 裕文）
釜ヶ崎支援機構

（小林 大悟）
緊急サポート大阪

（永井

